

## 第6学年1組 外国語科学習指導案

指導者 小池 美樹

ALT Stephen Veale

### 1 単元名

What do you want to be? ～将来の夢を家族や未来の自分に伝えよう～

(Here We Go! 6 Unit8)

### 2 単元について

#### ○教材観

本単元では、将来になりたい職業やその理由を、「What do you want to be?」「I want to be …」やこれまでの既習表現などを用いて伝え合い、家族や未来の自分にあてたビデオメッセージを作るとともに、卒業アルバムに英語で夢について書く活動を行う。

小学校生活も残りわずかとなるこの時期に、将来の夢について考えることは重要である。これまで児童は、総合的な学習の時間の中で、職業についての調べ学習を重ね、自分の将来や夢について考えてきている。また、将来の自分に夢や希望がもてるように、図画工作科でも英語科と連動して、「未来のわたし」を紙粘土で形作る活動を予定している。教科を横断して将来の夢について学習を積み重ねることで、相互に学習が関連付けられ、児童が自分のやりたい職業についてより深く思考し、見通しをもってこの単元に向かうことができると考える。そうして深めてきた自分の夢を、将来の自分に向けてビデオメッセージとして残し、卒業アルバムに書き記す活動は、児童にとって主体的に取り組める題材になると考えられる。

また、小学校生活を一緒に過ごしたクラスの仲間と将来の夢について語り合うことで、明るい未来に向けて共にならぼうというクラス集団としての意識を高めていくこともできると考える。

さらに、今の自分の夢を家族や友だち、未来の自分に伝えるために卒業アルバムに自分の将来の夢を英語で書いて載せる活動も設定した。これまでに慣れ親しんだ語句や表現を使い、英語で自分の夢を書くことで、小学校の英語学習で学んだことを残し、中学校の英語学習に向けて自信を持たせたい。

#### ○児童観

本学級の児童は、30名の学級である。外国語のやり取りの場面では、時間の中でできる限りたくさん友だちと関わりながら会話を楽しんだり、英語で伝えたいが表現できないことを指導者に聞いたりする場面がよく見られる。友だちの発表を聞き、よい部分を自分の発表に生かしたいと振り返りシートに書くなど積極的に英語で表現しようとする意欲も見られる。

1学期には、子どもたちは新しいALTの先生に覚えてもらうために自己紹介をしたり、来日して日が浅い教育センターのALTの先生に日本の行事を紹介したりする活動を行っている。この活動を通して、児童は自分の使う英語がネイティブスピーカーの相手に伝わっていること、自分の発表に対して相手が反応してくれ、発表したことに意義があることを実感し、自信をつけてきている。

外国語科に関する意識調査によると、93.3%の児童が「英語学習が楽しい」と感じている。英語の活動で楽しさを感じる場面として、友だちとの活動を挙げる児童が82.8%いる一方で、やり取りが好きかという質問に20%の児童が「嫌い、どちらかといえば嫌い」と答えている。その理由はあまり得意ではない、人と話すことが苦手、やり取りに間が空くと気まずいというものだった。こうした児童の実態を踏まえ、やり取りへの不安を解消するために、日常的な表現を普段から目に見える

ところに掲示したり、楽しく会話ができるような雰囲気づくりをしたりしてきた。また、上述のアンケートにおいて、英語でのやり取りの際に、既習事項を使っていると回答した児童が多いにもかかわらず、実際のやり取りでは、実際使える表現があっても活用できていない場面も多く見受けられた。

全体で表現を振り返ったり、日本語を言い換えることで使える表現を考える活動を多く取り入れたりすることで、既習事項を活かした表現の工夫につなげたい。

## ○指導観

本単元では、「将来の夢を家族や未来の自分に伝えよう」というゴールを設定した。それに向けて、様々な学習を通して深めた将来の夢や思いを、既習事項を活用しながら、英語で表現する活動を大事にしていきたい。

この単元での指導ポイントは2つある。1つ目は、自発的な既習事項の活用である。なりたい職業とその理由は人それぞれであり、表現したい内容にも個々の思いがある。児童が自分の伝えたいことを既習事項と結び付けながら考え、表現できるように、自分で学習方法を選択し、気付きを深めていけるような学習教材を工夫する。例えば、学習者用デジタル教科書の活用や ICT 端末の活用、ワークシートの活用である。

本校が指定を受けている「英語教育改善プラン推進事業」でねらう「児童の発信力向上」に向けて、児童が表現したい内容を伝えることを授業の中で重視してきた。しかし、内容にこだわり、それまでの学習で習っていない表現を使ったり、一部日本語で表現したりした単元があった。「一生懸命覚えて伝えたけれど相手に伝えたい内容が伝わらなかった気がする。」「英語で全部表現したかった。」と振り返る児童がいた。本単元では、日本語をそのまま英語に置き換えるのではなく、6年生として外国語の学習で学んできた語彙や表現を自ら使い、表現できるように、就きたい職業について繰り返し語る場や既習事項と結び付け表現を検討する場を設け、就きたい職業やそれにかかわる自分の気持ちを語るときに運用できる表現の充実を図っていきたい。

そのために、自分の表現したいことを教科書で使われている表現を基本に考え、表現することに気付かせていく。具体的には、デジタル教科書の Story, Let's watch, Let's listen 等を活用し、就きたい職業やそれに関わる自分の気持ちを伝える表現にはどんなものがあるのか言語の使用場面と結び付けながら考えさせていきたい。必要に応じて個別学習の時間を設定しデジタル教科書を使い、児童自身が使いたい表現をくり返し聞き練習することで使える表現を増やしていく。

また、Small Talk で何度も友だちと会話しながら、言いたいけれど言えない表現を児童同士で考え、教え合う経験を積み重ねることで、自分の思いや考えが伝わったときの喜びや友だちと一緒に会話をする楽しさを感じさせ、自発的な既習事項の活用につなげていきたい。

2つ目はデジタル教科書等を使った家庭学習と外国語科の学習のリンクである。本校では、今年度から、学習者用デジタル教科書の継続的な活用をしている。一人一台端末には、学習者用デジタル教科書が入っており、自宅での学習も可能である。これまでも単元終末に表現の復習、チャンツの定着のために使ったり、自分の一番良い発表を提出できるよう、プレゼンテーションを家庭学習で行ったりした。学習者用デジタル教科書を授業や家庭学習で活用することにより、外国語の学習に意欲的に取り組む児童はもちろん、苦手意識のあった児童も、自ら機能を活用し学んでいる様子がみられ、主体的な学びにつながっている。この単元では、その時間の学習の振り返りとともに、次時に使う表現につながる部分を家庭学習の課題にすることで、個別最適な学びと協働的な学びを往還させながら、児童の資質・能力を育成していきたい。

### 3 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標(第6学年)

聞くこと	話すこと [発表]	書くこと
ゆっくりはっきり話されれば、自分のことや相手のことについて、短い話の概要を捉えることができる。	自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	自分のことについて、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

関係する領域別目標：「聞くこと」(ウ)、「話すこと [発表]」(イ)、「書くこと」(イ)

### 4 単元の目標

将来の夢を家族や友だち、未来の自分に伝えるために、就きたい職業やその理由などについて聞いたたり、自分の考えや気持ちを含めて話したりすることができる。また、将来の夢について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書くことができる。

### 5 言語材料

○表現 What do you want to be? I want to be... Why? I like... I want... I can... I play...  
I help... I study... I'm good at...

○語彙 職業, スポーツ, 食べ物, 人, 生き物, 自然, 気持ち, 家族など

### 6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<知識> I want to be...や Why?などの表現について理解している。 <技能> 将来の夢について就きたい職業やその理由を聞き取る技能を身につけている。	将来の夢についての考えを深めるために、相手の就きたい職業やなりたい理由などについて聞き取っている。	将来の夢についての考えを深めるために、相手の就きたい職業やなりたい理由などについて聞き取るようとしている。
話すこと [発表]	<知識> I want to be...などの表現について理解している。 <技能> 将来の夢について、I want to be...などの表現を用いて就きたい職業とその理由を伝える技能を身につけている。	将来の夢を家族や友だち、未来の自分に伝えるために、就きたい職業やその理由などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	将来の夢を家族や友だち、未来の自分に伝えるために、就きたい職業やその理由などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
書くこと	<知識> I want to be...などの表現について理解している。 <技能> I want to be...などの表現を用いて、就きたい職業やその理由、自分の思いを書く技能を身につけている。	将来の夢を家族や友だち、未来の自分に伝えるために、将来の夢について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いている。	将来の夢を家族や友だち、未来の自分に伝えるために、将来の夢について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書こうとしている。

### 7 単元の指導と評価の計画(全8時間)

部分は学習者用デジタル教科書使用

時	目標 (◆) 主な活動 (○) アクティビティ (・) 誌面化されている活動 (【 】)	評価		
		知技	思判表	態度
		◎評価規準 (評価方法)		

<p>1</p> <p>◆職業の言い方を知る。</p> <p>○ Small Talk : 職業</p> <p>○ This unit's goal/将来の夢を家族や未来の自分に伝えよう。</p> <p>○ Today's goal 職業の言い方を知ろう。</p> <p>1</p> <p>○ 【Story】 p94,95</p> <p>・個人で映像を見て、職業体験施設にある職業や主人公たちが将来なりたい職業とその理由を尋ね合う会話から単元の概要をつかむ。再度全体で確認する。</p> <p>○ Vocabulary① 絵カードを見て推測しながら職業の言い方を確認し、デジタル教科書を使いながら語句の確認をする。</p> <p>○ 【Let' s chant】 p96</p> <p>○ 【Let's play】 Missing Game (職業)</p> <p>・黒板に提示されたピクチャーカードを見ながら、言い方を確認し、その中から指導者が抜いたカードを当てる。</p> <p>○ Reflection</p> <p>・学習内容を振り返り、振り返りシートに記入する。</p> <p>○こと Bank (適宜)</p> <p>・自分の発表に使えるような表現を書きためる。</p> <p>《家庭学習》【Let' s chant】を自宅で歌う。</p>			<p>★本時では、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。</p> <p>【評価/指導改善へのポイント】</p> <p>聞くこと《知識》</p> <p>活動を通して、“What do you want to be?”や“I want to be~.”について繰り返し聞かせる中で、理解しにくい児童がいた場合は、指導者から児童に直接問いかけ、日本語での回答を英語に置き換えて戻し、本単元で扱う語句や表現を十分に聞かせるようにする。</p> <p>(行動観察・振り返りシート)</p>
<p>2</p> <p>◆なりたい職業の言い方に慣れる。</p> <p>○ Small Talk : 教師の子どもの頃の夢</p> <p>○ Today's goal 職業の言い方になれよう</p> <p>○ 前時の復習</p> <p>・3分時間を取り、前時までの内容で復習したい部分やデジタル教科書で確認したい部分を各自で確認する。</p> <p>○ 【Let's listen】 p96</p> <p>・音声を聞き、登場人物のなりたい職業を線で結ぶ。</p> <p>○ Vocabulary②</p> <p>・教科書にはない自分の職業を確認し、スライドで各自練習する。</p> <p>○ 【Let' s chant】 p96</p> <p>・チャンツを聞いた後、スピードを調整し歌う。</p> <p>○ 【Let's play】 キーワードゲーム (職業)</p> <p>・職業を1つ選択し、キーワードをALTが言った際に立つ。</p> <p>○ Reflection</p> <p>・学習内容を振り返り、振り返りシートに記入する。</p> <p>○こと Bank (適宜)</p> <p>・自分の発表に使えるような表現を書きためる。</p> <p>《家庭学習》新しい職業のスライドで自分の職業の言い方を確認</p>			<p>★本時では、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。</p> <p>【評価/指導改善へのポイント】</p> <p>聞くこと《知識・技能》</p> <p>活動を通して、“What do you want to be?”や“I want to be~.”について繰り返し聞かせる。</p> <p>Let's listen で戸惑う児童がいた場合は、板書したキーフレーズ“What do you want to be?”や“I want to be~.”を指し、どの言葉に注目して聞くかをイメージさせる。</p> <p>(行動観察・Let's listen 記述点検・振り返りシート)</p>

3	<p>◆なりたい職業について伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○【Let's chant】p96 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピードを調整し歌う。</li> </ul> </li> <li>○Today's goal なりたい職業について伝え合おう</li> <li>○前時の復習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書などを使いながら語句の確認をする。</li> </ul> </li> <li>○【Let's play】ジェスチャーゲーム（職業） <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードを選び書いてある職業のジェスチャーを行い、それを当てる。</li> </ul> </li> <li>○【Let's try】なりたい職業を選び伝え合おう <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のなりたい職業について伝え合う</li> </ul> </li> <li>○【Let's write】なりたい職業を書き写す</li> <li>○Reflection <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を振り返り、振り返りシートに記入する。</li> </ul> </li> </ul> <p>○こと Bank（適宜） <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の発表に使えそうな表現を書きためる。</li> </ul> </p>		<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価／指導改善へのポイント】</p> <p>発表《知識》</p> <p>Let's play や Let's try の中で“I want to be～”.の表現が不確かな児童がいた場合は、別の児童に発表させた後、再度言わせて“I want to be～”.の定着を図る。（行動観察・振り返りシート）</p> <p>書くこと《技能》</p> <p>職業名など長い単語を書くことが苦手な児童には、なりたい職業を薄く書き示し、スペースや4線を意識して書かせる。（ワークシート）</p> </div>
4	<p>◆なりたい職業とその理由を伝える言い方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Small Talk：先生以外で興味のある職業</li> <li>○ Today's goal</li> <li>○【Let's watch】p98 <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像を見て、登場人物のなりたい職業とその理由を聞き、確認する。</li> </ul> </li> <li>○【Let's chant】p98 <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャンツを聞いた後、スピードを調整し歌う。</li> </ul> </li> <li>○【Let's listen】p98 <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を聞き、登場人物のなりたい職業を線で結び、理由を教科書に書きこむ。</li> </ul> </li> <li>○Reflection <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を振り返り、振り返りシートに記入する。</li> </ul> </li> <li>○こと Bank（適宜） <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の発表に使えそうな表現を書きためる。</li> </ul> </li> </ul> <p>《家庭学習》STORY をもう一度家で見て、どんな理由を伝えていたか確認する。</p>	聞	<p>◎ [知] I want to be… や Why?などの表現について理解している。（行動観察・記述点検・振り返りカード記述点検）</p> <p>◎ [技] 将来の夢について就きなりたい職業やその理由を聞き取る技能を身につけている。</p>
5 本時	<p>◆将来の夢に対する自分の思いを伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭学習の振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>・Let's watch.から将来の夢についての自分の思いを表す表現にはどのようなものが考えられるかを再確認する。</li> </ul> </li> <li>○表現の確認（レベルアップタイム①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書などを使いながら使えそうな表現を探す。</li> </ul> </li> <li>○【Let's try①】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の将来の夢やそれに対する思いを伝え合う。</li> </ul> </li> <li>○【Let's try②】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の将来の夢やそれに対する思いをペアを変えて伝え合う。</li> </ul> </li> <li>○表現の確認・話す内容の再構築（②） <ul style="list-style-type: none"> <li>・確認が終わったら、個人でビデオ撮影をする。</li> </ul> </li> <li>○Reflection <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を振り返り、振り返りシートに記入する。</li> </ul> </li> </ul> <p>○こと Bank（適宜） <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の発表に使えそうな表現を書きためる。</li> </ul> </p>		<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価／指導改善へのポイント】</p> <p>発表《思考・判断・表現》《主体的に学習に取り組む態度》</p> <p>Let's try の中で自分の思いを伝える表現が浮かばない児童がいた場合は、ペアや指導者とのやり取り、デジタル教科書などを活用しながら、自分の発表に生かせる表現につなげていけるようにする。（行動観察・振り返りカード）</p> </div>

6	<p>◆将来の夢に対する自分の思いを伝えよう。</p> <p>○【Let's listen and read】 p100</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を聞きながら文字を指で追う。</li> <li>・紹介文の内容を教科書の空欄に書きこむ</li> </ul> <p>○【Let's try】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の将来の夢やそれに対する思いを伝え合う。</li> </ul> <p>○将来の夢の発表の準備・表現の確認 (デジタル教科書)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでのやりとりを振り返りながら、既習事項を使い、相手に分かる内容で発表を考えメモにまとめる。</li> <li>・どんな表現が使えるのか、絵辞典や Chants などのコンテンツを見ながら考える。</li> <li>・こと Bank から表現を選択する。</li> <li>・表現の確認をする。(デジタル教科書など)</li> </ul> <p>・確認が終わったら、個人でビデオ撮影をする。</p> <p>○ Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を振り返り、振り返りシートに記入する。</li> </ul> <p>○こと Bank (適宜)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の発表に使えるような表現を書きためる。</li> </ul>	聞	聞	聞	<p>◎ [技] 将来の夢について就きたい職業やその理由を聞き取る技能を身につけている。(行動観察・振り返りカード記述点検)</p> <p>◎ [思・判・表] 将来の夢についての考えを深めるために友だちの就きたい職業やなりたい理由などを聞き取っている。(行動観察・振り返りカード記述点検)</p> <p>◎ [主] 将来の夢についての考えを深めるために友だちの就きたい職業やなりたい理由などを聞き取ろうとしている。(行動観察・振り返りカード記述点検)</p>
7	<p>◆自分の将来の夢を家族や未来の自分に伝えるために、将来就きたい職業や、その理由などについて詳しく発表する。</p> <p>○ 表現の確認 (グループ・教員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時のビデオを見ながら全体やグループで表現などを再度確認アドバイスをする。</li> </ul> <p>○【Let's try】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確認が終わったら、グループごとビデオ撮影をする。(パフォーマンステスト)</li> </ul> <p>○【Let's write】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のなりたい職業を選んだ理由を書く。</li> </ul> <p>○ Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を振り返り、振り返りシートに記入する。</li> </ul> <p>○こと Bank (適宜)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の発表に使えるような表現を書きためる。</li> </ul>	発	発	発	<p>◎ [知・技] 将来の夢について、I want to be…などの表現を用いて就きたい職業とその理由を伝える技能を身に着けている。(行動観察)</p> <p>◎ [思・判・表] 将来の夢を家族や友だち、未来の自分に伝えるために、就きたい職業やその理由などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。(行動観察)</p> <p>◎ [主] 将来の夢を家族や友だち、未来の自分に伝えるために、就きたい職業やその理由などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。(行動観察・振り返りカード記述点検)</p>
8	<p>◆卒業アルバムで家族や友だち、未来の自分に伝えるために、将来の夢とその理由を書く。</p> <p>○【Let's watch】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回撮影したビデオを見合い、ビデオにコメントをつける。</li> </ul> <p>○【Let's write】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のなりたい職業とその職業を選んだ理由を原稿に丁寧に書く</li> </ul> <p>○【World tour】</p> <p>○ Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を振り返り、振り返りシートに記入する。</li> </ul>	書	書	書	<p>◎ [知・技] 将来の夢と自分の思いなどを書くことができる。(行動観察・記述分析)</p> <p>◎ [思・判・表] 卒業アルバムで家族や友だち、未来の自分に伝えることを意識して将来の夢や気持ちなどを書いている。(行動観察・記述分析・振り返りカード記述点検)</p> <p>◎ [主] 卒業アルバムで家族や友だち、未来の自分に伝えることを意識して将来の夢や自分の気持ちなどを書こうとしている。(行動観察・記述分析・振り返りカード記述点検)</p>

[評価基準 (ルーブリック)] 7時 発表

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	将来の夢について、I want to be…などの表現や既習の語句や表現を正確に用いて発表している。	将来の夢や、自分の思いなどについて、話す順番や内容を考えながら、相手に伝わるように詳しく発表している。	将来の夢や、自分の思いなどについて、話す順番や内容を考えながら、相手に伝わるように詳しく発表しようとしている。
b	将来の夢について、誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度に、I want to be…などの表現や既習の語句や表現を用いて発表している。	将来の夢や、自分の思いなどについて、相手に伝わるように内容を考えながら、発表している。	将来の夢や、自分の思いなどについて、相手に伝わるように内容を考えながら、発表しようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

## 8 本時の学習

(1) 日時 令和4年12月15日(木)

(2) 場所 加納岩小学校 体育館

(3) 目標 将来の夢に対する自分の思いを伝え合うことができる。

(4) 展開例                     部は児童がデジタル教科書の使用が想定される場面

時間	児童の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準(評価方法)
1分	○Greeting ・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	流れ
5分	○家庭学習の振り返り [全体]	・家庭学習であった【Story】の内容の短縮版である【Let's watch】を途中で止め、内容を振り返るとともに、この後、どんな表現が続くか、自分ならどんな表現が付け足せるかを考えさせ、本時の目標につなげる。	電子黒板 【Let's watch】  【Let's watch】に出てきた表現 子どもから出る表現
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>[Let's watch] 教科書 p98  Asha : What do you want to be, Kazu?  Kazuki : I want to be a robot creator.  Asha : Wow, That's amazing. (ここで止める。) Why?  Kazuki : Well, I like robots. I want to make many excellent robots in the future.  Asha : You'll be a great robot creator for sure. Good luck.</p> </div>			
	○Today's goal	<b>将来の夢に対する自分の思いを伝えよう。</b>	めあて (黒板掲示)
4分	○【レベルアップタイム①】個別学習1 ・デジタル教科書などを使いながら難しい単語や表現を復習したり使えそうな表現を探したりする。	・将来の夢について自分の思いを伝えるためにどんな表現が使えそうか考える。 ・デジタル教科書、教科書誌面、5・6年の既習表現集、振り返りシート(ことBank)の中から児童が選択し、情報を集める。	電子黒板 ピクチャーカード(職業) 児童用端末
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>児童が考える使えそうな表現(例)  ・I like~. ・I want to help people. ・I want to go to~. ・What do you want to be?  ・My hero is my~. I love~. ・I can~. ・It is fun. ・I have~. ・I'm good at~.</p> </div>			
5分	○【シェアリングタイム】協働学習1 ・全体でどんな表現が使えそうかを確認する。	・児童から出た意見を板書し、伝え合う際のヒントになるよう残しておく。	子どもから出る表現

<p>2分</p> <p>7分</p>	<p>○【Let's talk 1】<b>協働学習 2</b></p> <p>・ペア A (横ペア) と伝え合う。</p> <p>○中間指導 (1回目) <b>協働学習 3</b></p> <p>代表児童のやり取りから、自分の発表に生かせそうな表現を考える。</p>	<p>・一方が話すだけにならないように、質問しながら会話をするよう注意させる。</p> <p>・代表児童のやり取りを全体で共有し、どんなことが自分の発表に生かそうか、言語面・内容面から意識させる。</p> <p>※相手から質問されたことを自分の内容に生かす。</p> <p>※1つの内容について、関連付けて話す。</p> <p>・代表児童に ALT が質問することで、内容面で自分の思いが伝えられる表現 (将来の目標、自分のあこがれの人など) を付け足せるよう考えさせる。</p> <p>・児童から意見が出ない場合には、表現が考えにくい例を提示する。</p>	<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
	<p>想定される児童のやり取り例</p> <p>A: What do you want to be, ○○?</p> <p>B: I want to be a soccer player.</p> <p>A: Nice. Do you like soccer?</p> <p>B: Yes, I do. Do you like soccer?</p> <p>A: Yes, I do. What position do you like?</p> <p>B: GK.</p> <p>A: I, see. Good luck.</p> <p>B: Thank you. What do you want to be?</p> <p>A: I want to be an orthopedic surgeon....</p>		
<p>5分</p> <p>4分</p>	<p>○【Let's talk 2】<b>協働学習 4</b></p> <p>・ペア B (縦ペア) と伝え合う。</p> <p>・中間指導で学んだことを生かしながら、やり取りをする。</p> <p>○中間指導 (2回目) <b>協働学習 5</b></p> <p>自分の発表と比べながら代表児童のやり取りを聞く。</p>	<p>・具体的になりたい理由や思いを伝え、それに対して会話が長く続いたり、内容が深まっていたりしたペアにデモンストレーションさせ、表現を広げる。</p> <p>・自分の発表と比べながら、友だちのやり取りで良かった部分を学級全体で共有し、表現の幅を広げたり、ねらいを再確認したりする。</p> <p>・友だちとのやり取りを自分の発表に生かすよう、発表メモを活用させ、今日の自分の発表を録画する。</p>	<p><b>話すこと [発表]</b> <b>思考・判断・表現</b></p> <p>○将来の夢を家族や友だち、未来の自分に伝えるために、就きたい職業やその理由などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。(行動観察・記述分析・振り返りカード記述点検)</p> <p><b>話すこと [発表]</b> <b>主体的に学習に取り組む態度</b></p> <p>○将来の夢を家族や友だち、未来の自分に伝えるために、就きたい職業やその理由などについて、自</p>



7分	<p>○【レベルアップタイム②】個別学習② レベルアップタイム②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書や振り返りカード，先生や友だちに聞くなどして，発表メモに付け足しをしながら自分の表現をさらに良いものにする。</li> <li>・発表の練習をする。</li> <li>・発表を録画する。</li> </ul>		<p>分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。 (行動観察・記述分析・振り返りカード記述点検)</p>
5分	<p>○ Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を振り返り，振り返りシートに記入する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<p>児童用端末</p>

(5) 評価 ★本時では，目標に向けて指導は行いが，記録に残す評価は行わない。

**評価規準**

- 将来の夢を家族や友だち，未来の自分に伝えるために，就きたい職業やその理由などについて，自分の考えや気持ちなどを含めて話している。(行動観察・記述分析・振り返りカード記述点検)
- 将来の夢を家族や友だち，未来の自分に伝えるために，就きたい職業やその理由などについて，自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。(行動観察・記述分析・振り返りカード記述点検)

**【授業の流れ】**

<p><b>個別最適な学び</b></p> <p>1 使えそうな表現を探す。</p> <p>7 デジタル教科書や教科書，振り返りカード，友だちや指導者に聞くなど方法を選択し，自分の発表を深める。</p>	<p><b>協働的な学び</b></p> <p>2 それぞれが見つけた表現を全体で共有し，会話で使う表現を増やす。</p> <p>3 ペアの会話を通して自分の思いを伝える表現を考える。言えない表現を確認する。</p> <p>4 質問内容から自分の表現を充実させる方法をつかむ。表現できなかった内容をクラスで考え，共有する。</p> <p>5 別のペアとのやりとりから表現を充実させる。</p> <p>6 内容が深まりのあるペアの表現を聞き，自分の発表につけたせそうな表現を見つける。</p>
---	---

【板書計画】

This unit's goal	将来の夢を家族や未来の自分に伝えよう
Today's goal	将来の夢に対する自分の思いを伝えよう。
Watch and Think	I want to make….
Level up time①	I like ….
Let's talk	I can ….
Let's talk	I'm good at….
Level up time②	I love.
Let's try(録画)	My hero is ….
Refrection	Soccer player is ●●.
	I'll be great ●●.
	I want to            in the future.

仕事のイメージ

ヒーロー  
あこがれの人

決意

目標